

UTILITY MODEL ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication Number: JP 40-36397 Y1

(43) Publication Date: December 24, 1965

(71) Inventor: Eizo NAGATA

(54) Title of the Invention: Sanitary Pad

(57) Abstract:

In a sanitary pad according to the present device, a liquid-absorbent layer 1 is wrapped by a water repellent paper 2 perforated on an upper surface thereof. A pad A main body composed of the absorbent layer 1 and the water repellent paper 2 is further wrapped with a nonwoven fabric or a strong paper 3. The strong paper 3 is partially cut off in an arbitrary width a, on a side opposite to a side B on which a double-layered absorbent layer 1 is exposed. A portion being cut off is lined with a soluble paper 4 having a width b greater than the arbitrary width a.

生理用パッド

実 願 昭 39-58014
出 願 日 昭 39. 7. 22
考 案 者 永田栄蔵
東京都世田谷区砧町326
出 願 人 東洋企業株式会社
大阪市天王寺区木野町17
代 表 者 栗栖紀宣
代 理 人 松井昭三

図面の簡単な説明

第1図は本考案の一具体例の斜面図、第2図はそのX-X線における断面図である。

考案の詳細な説明

本案は例えば紙面等からなる液体吸収層1を撥水紙2で上面を適当に開けて包んだパッド本体Aを不織布又は強靱紙3の一部を任意幅aだけ切除し、その切除部分を幅aより広幅bの可溶紙4で裏打ちした二層槽き外被層Bで包むに際し、その槽き合せ部分がパッド本体Aの液体吸収層露出面の反対側位置に配すようパッド本体の周囲を繞つて上面で重合してなる構造の生理用パッドである。

従来の生理用パッドは脱脂綿又は紙パルプを主材とする紙綿が使用されているが、近時水洗便所の普及につれて使用済のパッドを之に廃棄しても便所を詰らせない紙綿が専用されるようになったところがこの様な水に可溶性の紙綿等の下面に撥水紙を重ねた所謂パッド本体をレーヨン紙の如き

強靱紙で被覆した従来のパッドでは使用済のパッドを水洗便所に廃棄した場合内容物が水に溶けても、それを被覆する外被層の強靱紙が水に溶けないから、内容物が浸出することができず水洗便所を詰らせることになる。

そして実際に於て各所で此の被害が続出しているのである。

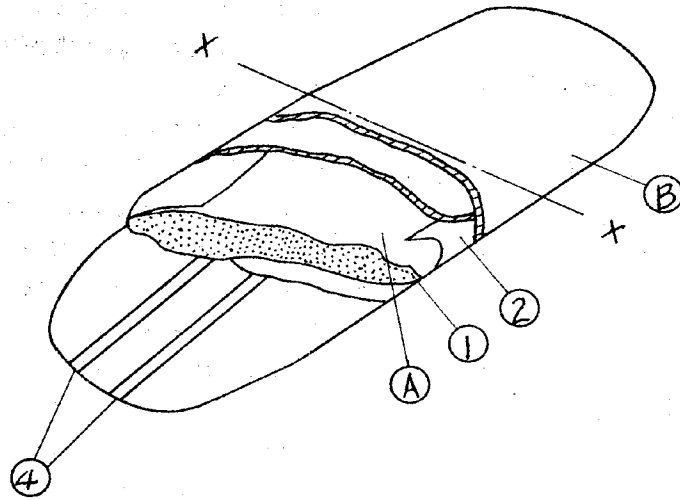
今、本考案者はその対策を考え、殊に従来使用せられていたパッドの外被層に改良を加えて頭記の構造のパッドを得たのであつて、斯くすることにより本案パッドは使用後、これを水洗便所に廃棄するとき外被層の不織布又は強靱紙2を通して内部のパッド本体に水が吸込まれ、同時に不織布又は強靱紙の切除部分に裏打ちした可溶紙が水に溶けるから、外被層はその個所で切断分解され水洗便所の如何なる曲部にも引懸ることがない。

こうして得られた本案パッドは従来パッドの目的要素を損うことなくそのまま具備し、その上水洗便所に廃棄しても速かに解体し、そのまま流出し管路を詰めることなく処理出来る効果は甚大である。

実用新案登録請求の範囲

液体の吸収層1を撥水紙2で上面を適当に開けて包んだパッド本体を不織布又は強靱紙3の一部を任意幅aだけ切除し、その切除部分を幅aより広幅bの可溶紙で裏打ちした二層槽き外被層で包むに際し、その槽き合せ部分がパッド本体の液体吸収層露出面の反対側位置に配すようパッド本体の周囲を繞つて上面で重合してなる生理用パッド。

第 1 図



第 2 図

